

新任教授・准教授のご紹介



消化器内科 臨床教授
はしもと せんじゅ
橋本 千樹

2022年11月1日に藤田医科大学病院よりばんたね病院へ赴任しました。当院の消化器内科は胆膵疾患を中心に、胆石胆嚢炎、急性膵炎などに対する救急医療から、膵がん、胆道がんなどのがん診療まで、幅広く診断・治療を行っています。特に内視鏡を使用した胆膵疾患の診断・治療を積極的に行っています。

【専門分野】胆膵疾患

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医・学会評議員、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・学術評議員、日本超音波医学会専門医・指導医・代議員、日本胆道学会認定指導医・学会評議員、日本膵臓学会認定指導医、日本消化器がん検診学会、日本肝臓学会、日本癌治療学会 会員



脳神経外科 准教授
たむら たかみつ
田村 貢光

2022年10月より、ばんたね病院へ赴任しました。東北で生まれ育ち、琉球大学で医学を学び、沖縄で脳神経外科医として働いておりましたが、この度良きご縁に恵まれまして、日本のおへそ、名古屋での生活を送っております。

テクノロジーの発展が目覚ましい脳神経血管内治療と、微小解剖学を駆使した頭蓋底外科をサブスペシャルにし、研鑽を積んできました。

ばんたね病院脳神経外科においては、私が初めての脳神経血管内治療指導医の常勤医ということで、特に急性期脳血栓回収術での貢献を期待されておまして、既に3件治療し、治療成績も良好です。スタッフがストレスを感じない、かつ迅速な治療を遂行できる環境整備をしながら、貢献していこうと考えております。

【専門分野】脳神経血管内治療頭蓋底外科

日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会認定指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医

ばんたね病院と一緒に働いてくれる方を募集しています!!

募集時期：随時募集

雇用形態：正社員

看護部

看護師・助産師/診療補助

詳細はこちら▼



看護師・助産師 診療補助

薬剤部

薬剤補助

詳細はこちら▼



事務部

事務員

詳細はこちら▼



電話でのお問い合わせは
右記連絡先までご連絡ください。

ばんたね病院人事課
TEL 052-323-5697・5696

匿名加工情報の作成及び第三者提供について

○匿名加工情報の作成について

当院が保有する患者様の個人情報について、当院は、特定の個人を識別すること及び個人情報を復元することができないよう適切な措置を講じたうえで匿名加工情報として作成いたします。

【匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目】

- ・診療のために収集された診断画像

○匿名加工情報の第三者提供について

当院が作成または保有する匿名加工情報について、当該情報が匿名加工情報であることを明示したうえで、継続的に第三者に提供いたします。

【匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目】

- ・左記「匿名加工情報の作成について」における「匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目」と同一の項目

【提供の方法】

- ・紙媒体により院内で配布および院外の医療施設へ郵送
- ・当院Websiteにて掲載

ばんたねニュース

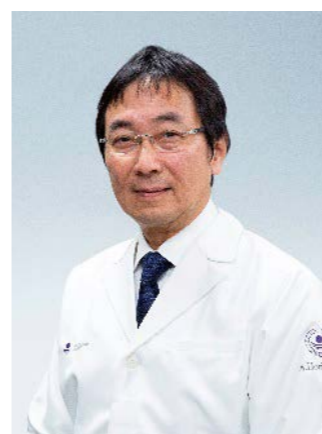
FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL



VOL. 51

2023年
2月28日発行

病院長挨拶



堀口明彦 病院長

ばんたね病院は2023年8月に新棟が開設します。地下1階には画像診断フロア、1階に救急外来・内科外来、2階に手術室、3階に小児科、眼科、4階には新たに血液浄化センターを設置します。また、手術室を新たに2室増設することで、様々な手術に対応できる体制とし、力を入れている内視鏡下手術の充実を図ってまいります。さらに、地域の透析医療のニーズに応えるべく、血液浄化センターを設置し、切れ目のない地域医療を提供していきます。新棟竣工後は、急性期病院として救急外来での心肺停止をはじめとする重症患者の受け入れをさらに強化し、藤田医科大学の「断らない救急」を実践し、地域の救急医療高度化に貢献してまいります。新棟開設により、ばんたね病院が目指すべき「いかなる患者さんも断らない地域に根付いた“ばんたねさん”」としてさらに社会貢献をしていきます。



全体図



2階手術室



4階血液浄化センター

藤田医科大学ばんたね病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL

〒454-8509 名古屋市名川区尾頭橋3丁目6番10号

TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

QRコードで今すぐアクセス

ばんたね

検索





すい臓がん ドックについて

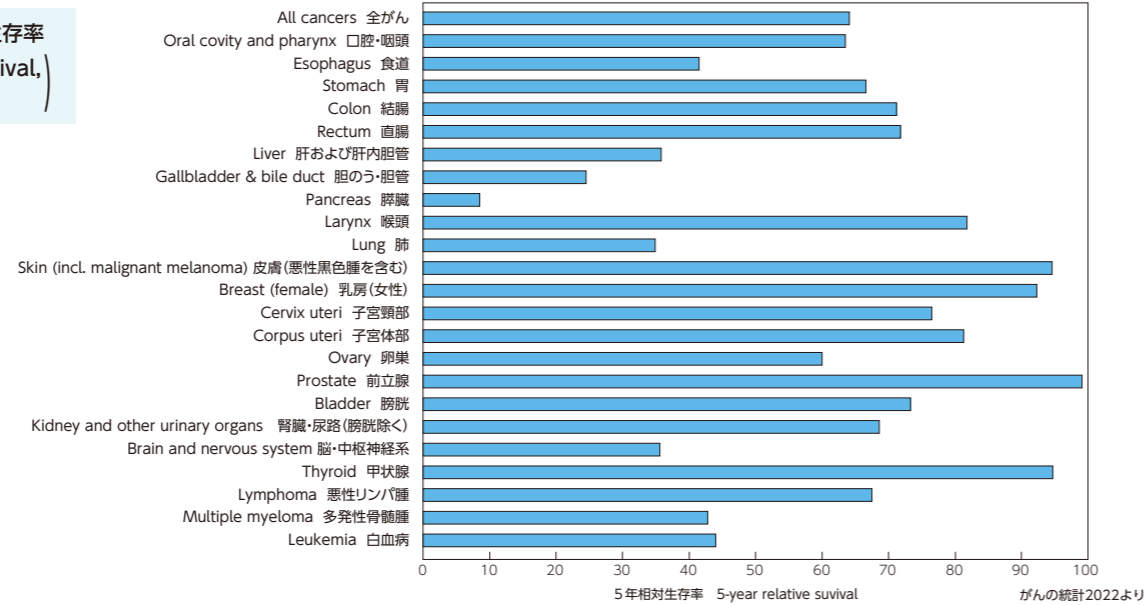
① すい臓がんとは、どのような病気なのか？

すい臓がんを理解するにはまずすい臓の働きを理解する必要があります。すい臓は腹部臓器の中では一番、背中側にある臓器で2つの大きな働きがあります。インスリンなどを分泌して血糖値をコントロールする働き、もう一つは消化酵素液を十二指腸に分泌し、蛋白や脂肪などの栄養素を消化分解する働きです。世間でよく知られている予後の悪いすい臓がんは消化酵素液が分泌される膵管内からできる癌（浸潤性膵管癌）のことを言います。

② すい臓がんの予後は？

全国統計によると、がんによる死因は、1位が肺がん、次いで大腸がん、胃がんで、第4位にすい臓がんとなっていて、約4万人の方が年間に亡くなっています。一方で年間のすい臓がんの罹患患者数は約4万2千人と公表されていることから、すい臓がんの予後がいかに悪いか分かります。実際に浸潤性膵管癌は消化器系の癌のなかでも最も予後が悪く、その全体の5年生存率は10%前後とされています。

(1) 男女計 5年相対生存率
(5-year Relative Survival, Both Sexes)



③ すい臓がんの診断は？

最近の癌治療や治療技術の進歩は日進月歩ですが、すい臓がんの診断と治療は非常に難しいのが現状です。すい臓自体がお腹の奥の方にあり、癌になっても症状がでにくく、症状が出た時には、すでに手遅れになっていることが多いからです。進行した状態だと根治するというのは非常に難しいですので、なるべく早い段階で発見できないかとすい臓の専門家は試行錯誤しています。しかし、残念ながらすい臓がんを早期発見できる確率というのは約0.8%とされています。これは他の消化器がん、たとえば胃がんや大腸がんであれば、定期的に胃カメラや大腸カメラを受けるという方法があります。しかし、すい臓がんには特定の検診方法がないことが大きな問題です。したがって、すい臓がんになりやすい人、もしくは罹患している可能性が高い人というのがわかってきています。以下のような人は注意したほうがよいと思います。

このような方は、ご自分で心配して専門医を受診することが大事です。

- ① 腹痛やむかつき、背中や腰の痛み、最近、急に体重が減った人
- ② 急に糖尿病になった人、また急に糖尿病が悪くなった人
- ③ 血縁（親、子供、兄弟など）にすい臓がんになったひとがいる
- ④ 検診でアミラーゼの値が高い、もしくは低いと言われたことがある
- ⑤ 検診で腫瘍マーカー（CA19-9）が高いと言われたことがある

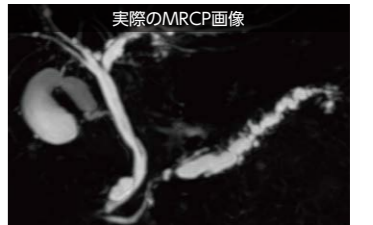
④ 当院で実施しているすい臓がんドックとは？

当院では、すい臓がんドックの検診として、A.問診 B.腹部超音波（飲水法） C.MRCP D.腫瘍マーカー含む血液検査を行っています。膵臓はお腹の一番奥にある臓器で一般的な人間ドックではすい臓がんはみつかりません。すい臓がんを早期に発見するにはMRIや特殊な超音波検査、すい臓がんの特異的な腫瘍マーカーの検査が必要となります。

MRIの中でもMRCP（MR胆管膵管撮影）は、体への負担もほとんどなく、早期のすい臓がんの検出に有用で膵管の狭窄や拡張の評価に有用です。

またMRIに加えて、すい臓がんドックでは腹部超音波検査も一緒に行います。通常の腹部超音波では膵臓は大腸や胃の空気に隠れてしまい、非常に見にくいのですが、当院では大阪国際がんセンターで開発された飲水法を用いた超音波検査を行います。胃内にミルクティーなどを充満させることで通常では観察が困難な膵臓の尾部を詳細に観察します。検査は大阪国際がんセンターで実地研修を受けた肝胆膵専門医師と検査技師によって行われます。

お申し込みは、**病院代表 (052-321-8171)** へご連絡ください。 検診料は税込みで47,000円となります。

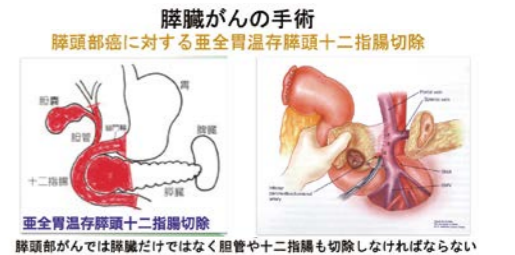


⑤ 具体的なすい臓がんの最新の治療は？

転移のないすい臓がんの治療の軸となるのは外科的切除です。ただ、すい臓は小腸や肝臓を栄養する大きな血管が近くにあるので非常に難易度の高い手術となります。進行した状態で安易に外科手術を行うと癌を取りこぼしてしまうということも多いです。したがって、近年はまず化学療法や放射線治療を先行し、腫瘍を小さくしがんの勢力を弱めてから切除を行うという方法が多くすい臓がんにおいて施行されています。いずれにしても、非常に専門的な治療が必要になるわけです。

残念ながら肝臓や肺など転移があつてStageⅣと診断されている場合は、まずは化学療法を行って腫瘍の進行を防ぐことが先決になります。ただStageⅣであっても化学療法が良く効いて、転移が消失し最終的に手術ですい臓癌を切除できる可能性もあるので、すぐには諦めず専門医を受診することが非常に大事です。

非常にまずショックを受けられるとは思いますが、冷静になって適切なすい臓がん治療の知識を持った専門医や専門施設をお近くで探すことが大事です。これはすい臓がんの治療自体の専門性が非常に高く、また外科手術も高度な技術が必要となるからです。具体的な専門医や施設の探し方ですが、内科治療の場合、日本膵臓学会の認定指導医、指導医施設を、外科的治療でしたら日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医・専門医修練施設を探せば、客観的に信頼のできる施設、治療医に巡り会えると思います。これらの施設や専門医は学会のホームページから簡単に検索できます。良い専門医が見つかりましたら、最近の治療は非常に進歩していますので諦めずに粘り強く治療を継続することが重要です。



題名 **すい臓がんドックを受けてみませんか？**

著者 **加藤 宏之** 〈所属：藤田医科大学 ばんだね病院 消化器外科〉

藤田医科大学ばんだね病院 消化器外科 加藤宏之です。2023年よりばんだね病院ですい臓がんドックを始めました。そこで、今回はすい臓がんとはどのような病気なのか？ なぜすい臓がんドックが必要なのかについて解説しました。

専門医・指導医各種
資格・専門医

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本救急医学会専門医、日本胆道学会認定指導医、日本膵臓学会認定指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医